

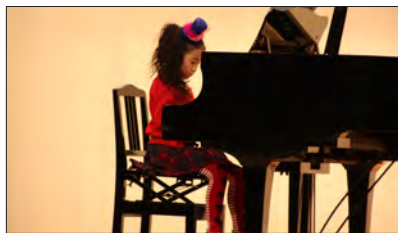
広報

えりも

2013

12月号 №.901

Public Relations Erimo



郷土芸能や舞踊など多彩な演目を披露

日頃の練習成果を観客200人の前で

町文化協会（嵯峨直樹会長）主催による「第43回えりも町文化祭芸能発表会」が10月27日、福祉センターで行われました。

えりも岬小学校児童による襟裳少年神楽や日本空手協会えりもクラブによる組手などの演武、ピアノの演奏や合唱、舞踊など11団体が、日頃の取

り組みの成果を観客へ披露しました。

発表会は、えりも町民吹奏楽団とえりも中学校吹奏楽部の合同演奏「夕日メドレー」から始まり、各団体の発表が行われ、最後は芳賀ピアノ教室の芳賀奈津子さんが「潮騒のメモリー」を演奏し終了しました。

交流事業が始まり20周年を迎え

おおよす
大洲市との絆をさらに深める

11月1日から4日間、岩本湊叙町長と砂原勲町商工会長らが、風の館と姉妹館提携している四国愛媛県の大洲市を訪れ、秋のイベント「おまつり村」に参加し、えりものPRや大洲市との交流を深めてきました。

本交流事業については、平成5年11月にえりも風の会から旧肱川町の「風の博物館」に6畳風の寄贈をしたことから始まりました。

平成9年えりも町で開催した「全国風サミット」で風の館と風の博物館の姉妹館提携後、両町の相互交流事業が展開されました。平成17年の大洲市への合併以降も「肱川ふれあいまつり」へ特産品の提供や平成21年、風の博物館への新たな大風の寄贈が行われました。平成22年、大洲市の訪問団が「えりも海と山の幸フェスティバル」で大洲いもたきを提供、平成24年には大洲市民が「えりも町を訪ねる旅」で来町するなど大洲市との交流の輪は広がりをみせています。

今年度は、本交流事業が始まって20周年を迎え本町の観光や物産のPRを通じて、絆をさらに深めることを目的に大洲市を訪れました。



えりも風の会が寄贈した大風は、風の博物館に展示されています



大洲市役所を表敬訪問し、挨拶を行う岩本町長



岩本町長より、当選した方へ景品が手渡されました



抽選会が行われ、新巻鮭と毛ガニをゲットした親子

11月1日に大洲市役所を表敬訪問し、近年のまちの状況について情報交換を行い、今後の本交流事業の更なる発展を確認し合いました。11月3日には大洲市の秋のイベント「おまつり村」が催され、岩本町長や砂原勲町商工会長ら関係者が出席し、会場に訪れた市民に観光パンフレット入り昆布の無料配布をしま



漁協本町女性部と地元女性部が協力してつくった約750食分の鮭鍋



鮭鍋を食べようとえりも町のブース前にはぎわっていましたが

した。また、昆布や毛ガニ、新巻鮭が当たるえりもの特産品のPRを兼ねた抽選会も行われました。さらに、えりも漁協本町女性部（川村敦子部長）を中心に地元女性部の協力を受け、鮭鍋約750食を無料提供し、えりも町のブース前には多くの人が集まり、えりもの味覚を堪能していただきました。

えりものおふくろの味 「サケの飯寿司づくり」体験

道内各地から125人が参加

今年で5回目となるえりも地域力発掘協議会（高橋祐之会長）主催の「サケの飯寿司づくり」体験が11月9日、10日の2日間に渡って開かれました。

えりもの冬の風物詩で、おふくろの味でもある「サケの飯寿司」。地域の伝統として昔から伝わる飯寿司のつくり方を学ぼうと、岩見沢市など道内各地から抽選で選ばれた89組125人が参加しました。

初日に道栽培漁業えりもセンターでの開会式で、高橋会長は「発酵食品は今、健康食品として取り上げられています。皆さんが、しっかりとつくり方をマスターして、おいしい飯寿司ができることを願っています」と挨拶しました。

飯寿司の下準備作業では、えりも漁協定置部会の佐藤勝会長が講師を務め、町女性団体連絡協議会（川崎尚子会長）会員10人のサポートを受け、スクリーン映像やメモを見ながらサケを3枚におおして切り身づくりの下準備作業を行いました。

2日目は、歌別の第2体育館に会場を移動して行われました。漬け込み作業は、町内のつけものコンクールで入賞常連の渡部智佳子さん（本町）が講師を務め、漬け込む前の準備では、調味料の確認や野菜の切り方、ごはんと酒、酢をかき混ぜ

る準備をしました。

漬け込む準備が整った参加者はスクリーン映像やレシピを見ながら、前日に引き続き町女性団体連絡協議会会員のサポートを受け、切った野菜とサケの切り身、調味料を交互に樽へ漬け込みました。

昨年に続き、参加した岩見沢市の早川光政さん夫婦は「昨年もおいしく飯寿司がつくれたので、今年はもっとおいしくつくれると思います」と楽しそうに話しました。



レシピなどを見ながら、真剣に飯寿司を漬け込む参加者

襟裳岬「風の館」

初日の出の時間帯に臨時開館します

例年、襟裳岬からの初日の出を拝もうと大勢の人が訪れにぎわっています。風の館ではこの初日の出に合わせて臨時開館します。

暖かい施設の中で、ゆったりとご来光を参拝してみたいかがでしょうか。

当日は、コーンスープやホットドリンクの無料提供のほか、海産物も販売します。

ご家族や友人と一緒に、ご来館ください。

日時

平成26年1月1日（水）

5時～8時

内容

① ホットドリンク無料提供

（コーヒー、緑茶など）

② コーンスープ無料提供

③ 海産物の販売

その他

風の館へは、「入館料」が必要です。

なお、幼児は無料です。

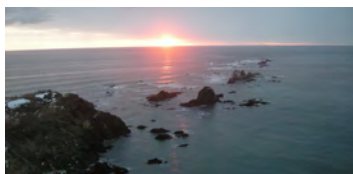
● 大人 300円

● 町内の小・中学生、高校生 無料

● 町外の小・中学生、高校生 200円

お問い合わせ先

襟裳岬「風の館」 ☎ 3・1133



町の社会福祉に多大なる貢献をされ

幌岩さんと鳴海さんへ振興局長表彰

11月15日、平成25年度北海道日高振興局長表彰（社会福祉関係）が役場応接室で行われ、町民生委員・児童委員の幌岩重喜さん（笛舞）と鳴海幸三さん（新浜）の2人に社会福祉事業功労者の表彰状が、近藤哲司日高振興局保健環境部環境福祉長から伝達されました。

幌岩さんと鳴海さんは、民生委員や児童委員として町の社会福祉に多大なる貢献をされたことが高く評価され、表彰されました。

幌岩さんは、平成元年12月から約24年間に渡り、民生委員・児童委員として町の社会福祉に貢献され、町社会福祉協議会評議員も通算16年務められました。

鳴海さんは、平成10年12月から約15年間に渡り、民生委員・児童委員として町の社会福祉に貢献され、平成19年12月からは町民生委員協議会会長として活躍され、平成12年5月から町社会福祉協議会評議員を務められ、その後、理事や副会長として活躍されました。

受賞された幌岩さんは「このような賞をいただきありがとうございます。長い間、民生委員として務めさせていただきましたが、これもひとえに皆様方の支えがあったからこそと思っています。振り返るといろいろな思い出がありますが、地域の助けになれたことを誇りに思います」と感謝の言葉を述べました。



表彰を受けた鳴海さん(左)と幌岩さん(右)

鳴海さんは「このような賞をいただき感謝しています。民生委員という責任ある仕事を終え、やつと肩の荷が下りたという気持ちがあります。色々な相談を受けましたが、病院へ行かないお年寄りを病院へ行くように説得をしたことや研修活動を通して委員同士の絆が深まったことが思い出となっています。これからは、一町民として少なからずではありますが、社会福祉に協力をしていきたい」と感謝の言葉と思い出を話してくれました。

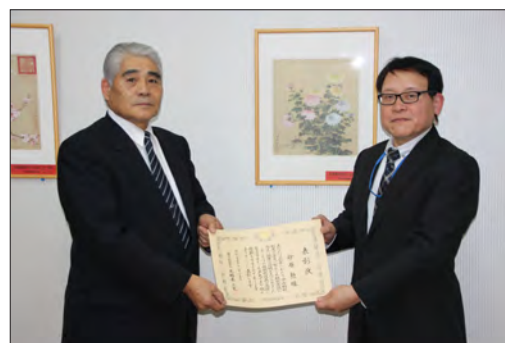
納税行政の普及と拡大に務め

砂原さんに税務署長表彰

11月15日、平成25年度浦河税務署納税表彰式が町商工会で行われ、砂原勲さん（大和）へ浦河税務署長表彰が大野木三夫署長から表彰状が手渡されました。

砂原さんは、平成13年から(社)浦河地方法人会理事を務め、平成19年からは同会えりも支部長、平成25年5月から同会の副会長として組織発展に多大な寄与をされ、平成18年度からは浦河間税会の副会長としても、税務行政全般に渡って尽力をされています。

また、国税電子申告・納税システム（e-Tax）を主宰法人の申告などに積極的に利用しながら、



大野木署長(右)から表彰状を受け取る砂原さん(左)

浦河地方法人会会員への利用勧奨を行うなど、e-Tax利用の普及と拡大にかかわってきたことが高く評価され、表彰されました。

砂原さんは「これからも、商工会職員と共に納税について、普及と拡大に努めていきたいと思えます」と述べました。

「税についての作文」入選

石丸さんに税務署長賞

11月15日、国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が中学生から募集した「税についての作文」の表彰式が、えりも中学校(平野秀一校長)で行われ、「わたしたちの未来」の題で浦河税務署長賞を受賞した石丸絹香さん(3年)へ大野木三夫署長から賞状が手渡されました。

これからの将来を担う中学生に、税に関することをテーマとして作文を書くことで、税について関心をもってもらったこと、正しい理解を深めてもらうことを目的とし、全国的に行われている作文コンクールで、今年度は道内の208校から9918人の応募があり、管内からは、えりも中と新冠中の2校から49人が応募しました。



浦河税務署長賞を受けた石丸さん

社に役立てられていることを考えながら作文を書きました」と話しました。

税に関する絵はがきコンクール

優秀賞に伊藤くんと中村さん

11月5日、(社)浦河地方法人会女性部会(武岡雅子部会長)が、浦河税務署管内の各小学校高学年を対象とし応募を行った「税に関する絵はがきコンクール」で、えりも小学校の伊藤多喜くん(4年)と庶野小学校の中村志恩さん(6年)が優秀賞に選ばれました。

この日、同部会えりも支部の坂田三枝子支部長は、えりも小と庶野小を訪れ、伊藤くんと中村さんに表彰状を手渡



坂田支部長から表彰状を受け取った伊藤くん(上)と中村さん(下)

しました。この応募は、租税教育活動の一環として、小学生に絵はがきを通して税の役割を知ってもらう目的で行われ、作品は新ひだか町からえりも町までの4町8校から83点の応募がありました。

最優秀賞は新ひだか町高静小6年が受賞しました。

記帳・帳簿などの保存制度の対象者が拡大されます

平成26年1月からは、事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う全ての方について、記帳と帳簿書類の保存が必要となります。

なお、この記帳と帳簿書類の保存制度につきましては、所得税及び復興特別所得税の申告が必要ない方も対象となります。

詳細は、国税庁ホームページをご覧ください

か、下記の連絡先までお問い合わせください。

●国税庁ホームページ <http://www.nta.go.jp>

●お問い合わせ先

浦河税務署 ☎0146-22-4131

※電話で問い合わせの場合は、自動音声にしたがって「2」を選択後、所得税担当にお問い合わせください。

Town News

—まちの便り—



迫真の演技をする児童

みんなの力が一つになり

10月20日

東洋小学校（小泉卓真校長、児童13人）で学習発表会が行われました。

発表会は、全校児童による合唱や器楽、劇、PTAによる合唱も行われ、5・6年生児童による劇「走れメロス」では、児童は長いセリフをスムーズに語り、役になりきるなど迫真の演技を保護者らへ披露しました。

小泉校長の挨拶で「同校は開校130年の歴史ある学校です。児童数が減っても、児童への教育は変わりません」と児童や保護者へ話しました。

10月29日

目黒地区で避難訓練を実施

町と目黒自治会（工藤俊弥会長）合同の地震と大津波を想定した避難訓練が実施され、約40人の住民が参加しました。

9時5分に大津波警報及び避難指示の防災無線が流れ、住民は2か所（旧目黒小学校と上目黒避難小屋）の避難場所へ避難を開始しました。

避難場所では自治会役員が避難者数を確認し、災害対策本部へ報告するなど伝達訓練も行いました。

避難後に、工藤会長は「災害に備え、自分の身は自分で守る意識を日常から心がけるように」と呼びかけました。



避難階段を利用し避難する住民



命の大切さについて講演した講師の藤田さん

命の大切さを伝える

11月5日

町幼児教育振興会（村田裕昭会長）主催の幼児教育講演会「大切な命、幼い人と寄り添い、生きること」が福祉センターで行われ、保育士ら45人が命の大切さを学びました。

講師の藤田春義さんは、「大切な命に寄り添う」をテーマに、妊娠12週に入ると胎児はすでに人間の姿になっていることや妊娠中絶では非情にも胎児を体内でバラバラにして取り出す衝撃的な映像が紹介されました。

講演の中で、藤田さんの養子縁組などの事例も語られ、保育士らは真剣に話を聞いていました。

11月13日 活動を通じて親子の交流を図る

風の子ひろば（神保春菜代表）が町民体育館でミニ運動会を行いました。

同ひろばは、子どもたちの遊び場と子どもを育てるお母さん同士の交流を図ることを目的とし、役場保健福祉課保健指導係の協力を得ながら、毎月第2・4水曜日に福祉センターなどを使用し活動を行っています。

この日、参加した親子15人はアンパンマン体操や玉入れなどを行い、競技終了後には子どもたちへ手づくりのメダルが手渡され、親子で楽しい一日を過ごしました。



キッズカーで競争をする子どもたち



夕日メドレーでは後ろに夕日の映像が流れる

多彩な曲を大勢の観客へ披露

11月16日

えりも町民吹奏楽団とえりも中学校吹奏楽部、様似中学校吹奏楽部によるジョイントコンサートが、えりも中学校体育館で開かれ、150人の観客が来場しました。

三部構成で行われたコンサートは、えりも中学校吹奏楽部の「Let's go クラシック」から始まり、町民吹奏楽団は「アニメヒーロー・メドレー」など2曲を披露しました。

合同ステージの第3部では、町民吹奏楽団と各中学校の吹奏楽部がアンコールを含め8曲を演奏し、会場からは大きな拍手が送られました。

11月16日 身近な食材も漢方薬です

襟裳岬「風の館」で道医療大学薬学部の堀田清准教授（浦河町出身）による「漢方から学ぶえりも岬の濃い食物エネルギー Part 2」が開かれ、35人が講演を聞きに訪れました。

講演の中で、堀田准教授は普段から食べている大根の葉っぱやキャベツ、山菜も漢方薬であり、シソは漢方薬の王様ですと説明し、「えりも岬の人は、かつて砂漠だった襟裳岬を緑に変えた人たちで、植物の重要性を知っている。健康のために、口から植物（野菜）を摂り自分の体を植林してほしい」と述べました。



漢方について語る講師の堀田准教授



サケの身をほぐし骨を取り除く作業を行う児童

地元食材を使い知識を学ぶ

11月18日

庶野小学校（横島均校長）の5・6年生児童18人は、地場産業への理解と水産加工することで食材の保存や付加価値が付くことの知識を学んでもらうために、サケフレークづくりを体験しました。

児童らは、えりも漁協から提供された生サケを町の担当者や漁協女性部の指導を受けながら加工、完成したフレークを美味しく試食しました。

児童は「楽しかった。上手につくることができました」と話していました。

自慢ののどや舞踊を披露

講演では、認知症予防を学ぶ

11月9日(土)福祉センターで「町高齢者教室生大会」が行われ、近笛から目黒まで9地区130人の教室生が参加しました。

午前は、大江病院（帯広市）の大江徹院長を講師に招き「こころとからだの健康講座～みんなで学ぼう認知症～」と題して、認知症予防のための講演会を行いました。

交歓会では、各地区の代表26人12グループによる歌や琴、舞踊などが披露され、琴鈴会が演奏する大正琴の優雅な音色に聴き入ったり、華やかな舞、自慢ののどを披露するなど会場を魅了する一方で、西えりもの教室生が披露したむぎ畑が始まると、会場は一変して笑いの渦が起きました。



認知症予防について講演を行った大江院長



ソーラン祭り節を披露するえりも岬の教室生

生涯学習だより

すばらしい歌声を響かせ

11月17日(日)えりも小学校多目的ホールで、「第37回道民芸術祭・合唱祭」が行われました。合唱祭には管内9団体156人が参加し、えりも中学校吹奏楽部の「COSMOS」から始まり、しお風コーラスなどのすばらしい歌声で200人の聴衆を魅了させました。

プログラムの最後は参加者全員での「全体合唱」が行われ、「Melody」・「大地讃頌」の2曲を歌いました。



「なみだ」他4曲を披露したしお風コーラス

手回しオルガンを体験する

10月30日(水)福祉センターで、劇団えりっこによる人形劇鑑賞会「幼な子の集い」が行われ、幼稚園児、各保育所児童や一般親子約170人が集まり「あそぼ！手回しオルガンといっしょ」、「へそどろぼう」の2作品を鑑賞しました。

約1時間の公演でしたが、子どもたちは人形の1つ1つの動きに見入っていました。また、人形劇鑑賞後には、子どもたち全員が手回しオルガンを演奏し、とても貴重な体験をしました。



人形や楽器を使い子どもたちを楽しませる

会場は熱気に満ち溢れ

今回が2回目となる「町バレーボール協会会長杯小学生バレーボール大会」が11月10日(日)町民体育館で開催され、日高・十勝のバレーボール少年団12チームが出場しました。

この日、外は大荒れでしたが、体育館の中は白熱した試合展開が続き、半分以上が第3セットまでもつれる試合となりました。

えりもバレーボールスポーツ少年団Aチームが第3位になりました。



強烈なアタックが2枚ブロックを突き破る

爽やかな汗を流したミニバレー

町地区スポーツ指導員協議会主催の「町民ミニバレーボール大会」が11月11日(月)～12日(火)の2日間、町民体育館で開催され21チーム150人が参加し、熱戦が繰り広げられました。

優勝は下記のチームです。

男子の部：すっきり生(大畑充さん)

女子の部：ポークピッツ (高田宏美さん)

混合の部：庶野A (金沢富士雄さん)

※ () はキャプテンの名前です。



熱戦が続いたミニバレー

華麗なボールさばきを見せる

えりもサッカー協会主催の「町民フットサル大会」が11月17日(日)町民体育館で開催され、えりも町・浦河町・新ひだか町から6チーム約50人が参加しました。

試合は、巧みなパス回しと華麗なボールさばきで相手をおかし、レベルの高い技術に会場が沸いていました。

白熱した試合が続き、えりもサッカー協会が優勝しました。



すばやい動きで相手をおかしゴールを狙う

好成績を収めた柔道大会

苫小牧柔道連盟主催の「第60回日胆柔道選手権大会」が11月3日(日)苫小牧市で開催されました。

えりも柔道クラブからも出場し、個人戦で小学1年生女子の部で鈴木美緒さんが準優勝、小学2年生男子の部で横浜一翔くんがベスト4、小学6年生男子の部で高橋永吉くんがベスト4と好成績を収めました。



袈裟固めで相手をおさえ込む

新しい本

図書室だより

《おすすめ本》

月下上海

山口 恵以子 著

スキャンダルを逆手にとり人気画家にのしかがった財閥令嬢・八島多江子は、戦時統制下の日本を離れ、上海に渡った。謀略渦巻く魔都・上海で、多江子が出会う4人の男たち。憲兵大尉・榎庸平、民族資本家・夏方震、医学生ながら抗日運動に身を投じる黄土海、そして多江子の前夫・奥宮瑠偉。いま、運命の歯車が回り始める。第20回松本清張賞受賞！



《一般書》

- 北海道に僕が残したいもの／稲葉篤紀
- なぎさ／山本文緒
- 人生はニャンとかなる！明日に幸福をまねく68の方法／水野敬也
- 人生はワンチャンス！「仕事」も「遊び」も楽しくなる65の方法／水野敬也
- 蛇行する月／桜木紫乃

岬小2年の児童が図書室を見学

公共施設の利用の仕方などを学習する一環として、10月7日(月)4人の児童が来室し、図書室内にあるものや利用方法などについて、質問を交えながら理解を深めました。



借りる本を選ぶ児童

《児童書》

- こころのふしぎなぜ？どうして？／村山哲也監修
- どんぐりむらのどんぐりえん／なかやみわ
- 雨ふる本屋／日向理恵子
- 絶対ダメされる!! ひっかけ&10回クイズ／小野寺ぴりり紳
- グレッグのダメ日記／ジェフ・キニー
- ドタバタヒーロードジルくん1／大空なごむ

子育てテレホンサービス ☎2-3715

| | |
|-------------|----------------------|
| 11/29～12/ 5 | 5歳児は幼児期の完成期 |
| 12/ 6～12/12 | たくましい子ども |
| 12/13～12/19 | 中学生の子どもとの対話 |
| 12/20～12/26 | 食べ物の好き嫌いをなくす |
| 12/27～ 1/ 9 | 自分の考えで、よい、悪いの判断はまだ無理 |

音声テープによるサービスです。電話をかけると音声の流れ、各内容についてのアドバイスを聞くものです。
※会話はできません。

来年の成人式は、
1月12日(日)です。
出席される方は、必ずお申込みください。

※詳しくは広報11月号をご参照ください。
※対象者の参加申込は締切後も受け付けますが、お早めをお願いいたします。

教育委員会社会教育課社会教育係
(☎2-2526 FAX2-2524)

各機関の年末年始の休み

| | |
|------------|---------------------|
| ❖役場・教育委員会 | 12月31日(火)～1月5日(日) |
| ❖福祉センター | 12月30日(月)～1月5日(日) |
| ❖福祉センター図書室 | 12月30日(月)～1月5日(日) |
| ❖郷土資料館 | 12月30日(月)～1月5日(日) |
| ❖町民体育館 | 12月30日(月)～1月6日(月) |
| ❖交流館ひなた | 12月30日(月)～1月5日(日) |
| ❖高齢者センター | 12月28日(土)～1月3日(金) |
| ❖町立診療所 | 12月30日(月)午後～1月5日(日) |
| ❖道立庶野診療所 | 12月30日(月)～1月6日(月) |
| ❖し尿処理申込 | 12月28日(土)～1月5日(日) |

悩みごと解決にお手伝い

民生委員、児童委員として、次の方々が生12月1日付けで委嘱を受けましたのでお知らせします。ご家族のことや地域の問題などがありましたら、お気軽にご相談ください。

| 氏名 | 電話番号 | 担当地区 |
|-------|--------|---------------|
| 岩間登美子 | 2-3659 | 近浦 |
| 小笠原登子 | 2-3553 | 笛舞 |
| 沼館 信夫 | 2-2624 | 大和・和里・西えりもの一部 |
| 喜多 節子 | 2-2541 | 西えりもの一部 |
| 駒 俊則 | 2-2298 | 本町・中央・住吉・沢町 |
| 東海林 弘 | 2-3081 | 柏台・新栄・みどり |
| 草野 泰子 | 2-3131 | 旭ヶ丘・高見 |
| 運上 英昭 | 2-3129 | あけぼの・新浜 |
| 加藤 弘子 | 2-2675 | 上歌別・歌別の一部 |
| 岩川 紀枝 | 2-3330 | 歌別 |
| 中野 友子 | 3-1644 | 歌露・東洋 |
| 富野 三仁 | 3-1513 | 南東洋・油駒 |
| 高橋 倫陽 | 3-1919 | えりも岬 |
| 金澤富士雄 | 4-2309 | 苫別～シトマン川 |
| 匂坂 将史 | 4-2041 | シトマン川～美島 |
| 高田香奈江 | 5-3302 | 目黒 |
| 神田 眞弓 | 2-2066 | 主任児童委員(町内全域) |
| 川合 明美 | 3-1922 | 主任児童委員(町内全域) |

臨時便の運行について

JR北海道バス(株)では、12月20日から平成26年1月15日までの間、臨時便(広尾～札幌間)高速「えりも・ひろお号」が運行されます。

運行期間(詳細)につきましては、下記のお問い合わせ先へ連絡してください。

※12月20日は13時50分、広尾駅発のみの運行となります。

※平成26年1月15日は8時、JR札幌駅発のみの運行となります。

※予約制となっていますので、予約のない場合は、座席の状況により乗車できない場合もありますので、ご了承ください。



●お問い合わせ先

JR北海道バス(株)様似営業所

☎0146-36-3432

広報紙で見る町の歩み 昭和42年

目黒校舎火災、吉田町長急逝と選挙

昭和42年年頭あいさつで、吉田勘之助町長は2期目就任に当たって、道営肉牛牧場の誘致実現に取り組むと述べています。

1月号には、大和夕陽ヶ丘団地に漁民住宅8戸が完成。大改修が終わった東洋小学校が開校80周年を祝ったことなどです。

1月30日夜、目黒小中学校（児童生徒数131人）校舎が全焼。目黒生活館や旧石村仙松宅などを仮校舎にして、授業を再開できました。

3月定例町議会で、議員定数を2人削減して20人とし、4月町議選挙で新人6人が当選。5月初議会で高橋栄二氏が議長に就任。5月から、本町地区周辺のゴミ収集を町直営で始めました。上歌別地区が、酪農30年の歩みを祝いました。

襟裳岬で、映画「その人は昔」（松山善三監督）のロケがあって、主演の舟木一夫と内藤洋子が来町し、町外からも大勢のファンが押しかけました。庶野港船籍の第八海隆丸（相坂勉船長、6人乗組）が6月8日釧路沖で遭難し、町民は、善とある若い乗組員の死を悼みました。庶野漁港で、シトマン

川付近から西防波堤を延長する工事が進められていました。

町村金五道知事が9月8日、道営肉牛牧場予定地視察のため来町。10月号には、公営住宅建設工事が急ピッチに進んでいる様子が載っています。10月に目黒小中学校校舎が復旧し地区ぐるみで祝いました。落成式では、火災のハンディに負けず、日高東部中学校野球大会での優勝も称えました。

11月上旬、本町市街地と大和地区を直線で結ぶ国道工事が完成。札幌出張中の吉田勘之助町長が11月30日に急逝し、町葬を執行で生前の功績に報いました。12月23日の町長選挙には、花田政雄氏が当選して第3代町長に就任しました。



国道の直線化完成

えりもMUSEUM しりょうかん

住吉神社の石灯籠と拓本

住吉神社境内には、町広報4月号で紹介した石灯籠や手水鉢以外にも貴重な文化財があります。

江戸時代に作られた石碑などは長年の風雪により、刻まれた文字が読みづらくなっています。光を利用し影を作りながら読む方法もありますが、大きく重い石碑を動かすことはできません。

一般的に、石碑などの碑文を写し取る方法として、拓本という手法があります。

まず、霧吹きなどを使って、薄い和紙（画仙紙）を石碑に貼り付けます。次に、松を燃やしてできた炭に油などを混ぜた「拓墨」という拓本用の墨を、スポンジの「たんぼ」という道具に染み込ませます。そして、「たんぼ」で画仙紙の上をたたくと、石碑の凹凸によって碑文や模様が浮かび上がり、写し取ることができます。しかし、野外での調査では、風が邪魔になります。

写真は以前町民有志と共に調査した時のもので

す。文字を読みやすいように石灰を塗ってみると、きれいに読むことができました。しかし、水で洗った水分や、雨や露で濡れていると石灰がドロドロになり、きれいに読めないという欠点もあります。冬には、雪をこすりつけるのもよい方法です。

調査した石は石灯籠の脚台で、「ホロイツミ支配人・名越屋善吉・帳役・和田屋元吉」、「ホロイツミ・福蔭屋喜四郎」と読めました。

幌泉の商いを占有していた場所請負人福蔭屋が嘉永4年（1851）正月吉日に寄進したものです。残念ながら脚台しか残っていませんが、えりもが江戸時代から、コンブ生産の地として栄えた歴史を示す貴重な資料です。



光を利用した調査(左)と石灰を使った調査(中、右)

小さな揺れでも大津波となる地震「津波地震」

「地震」とひと言でいっても、いろいろなタイプのものがあることがわかってきました。マグニチュードが小さい割に大きなゆれ（震度）を引き起こすものや、マグニチュードは大きいのに揺れ（震度）はたいしたことがないものもあります。「震度」

は人間が感じる揺れの大きさを示したのですが、揺れの感じ方は人や建物によって違います。たとえば、人間が強い揺れを感じるような地震でも、高さ160層を超えるような札幌駅前にあるJRタワーや苫小牧の海岸にある石油タンクなどの大きな建物はほとんど揺れません。しかし、人間はほとんど揺れを感じないのに、高いビルや石油タンクだけが大きく揺れるような地震もあります。

1975年（昭和50年）に根室の沖合で地震がありました。この地震の根室での震度は1で、だれもが小さな地震だと思っていました。気象台もそうでした。もちろん、津波警報は出ませんでした。しかし、40分後に突然津波がやってきたのです。根室花咲港では高さ1層、色丹島で

は4層にも達しました。その後調べてみると、マグニチュードが7.7もある大地震であったことがわかったのです。

このように、揺れは小さいのに大きな津波を発生させるような地震を「津波地震」と呼んでいます。揺れが小さいため、揺れだけでは避難は行われないため、防災上大変危険なタイプの地震です。

同じような地震は、三陸沖でも1896年（明治29年）にも起こっています。この地震も震度は最大で4でした。震度4くらいのは地震なら、えりもでも度々ありますね。この時も、揺れの強さはたいしたことなかったのですが、三陸沿岸の人々は全く津波を警戒していませんでした。しかし、しばらくたって巨大津波が三陸沿岸を襲い2万人以上の方がなくなりました。「明治三陸津波」と呼ばれるものです。

えりもの沖合でも、同じような「津波地震」が起こる可能性は充分あります。その場合、揺れは小さく、地震を感じても津波避難が必要だとは思わないでしょう。

現在の気象庁の観測体制では、もちろんこのような変わった地震でもきちんと見逃さないような対策はとられています。津波警報が出たら、たとえ揺れが小さくても、自分では避難の必要はないと感じても「津波地震かも！」と考えて、いちはやく避難を行ってください。

自然は、いつも我々人間の思いつかないような方法で災害を引き起こします。もちろん、気象庁はいま考えられる一番良い観測を行って津波に備えています。思いがけない落とし穴があるかもしれません。まだまだ人間が知らないような自然現象はたくさんあります。人間は時に「なんか変だ」「いつもと違う」と直感的に感じる時があります。地震の時にも「なんかいつもと違う揺れだな」と感じることもあるかもしれません。その場合には、万が一のため「避難が必要かも」と思っていただければと思います。



高橋 浩晃

北海道大学大学院理学部
 研究観測センター准教授
 博士(理学) 文部科学省
 地震調査研究推進本部
 政策委員会調査観測計画部委員
 北海道防災会議地震専門委員会委員

消防団の歳末警戒

日高東部消防組合えりも町消防団では、12月28日から12月30日までの3日間、歳末警戒を実施いたします。

また、期間中19時より無火災の啓発のため全地区一斉に防災無線でサイレンを吹鳴します。

年の瀬も押しせまり、何かと多忙な時期を迎えるにあたり、火災の発生を未然に防止して、

火災の無い年末年始を迎えるためにも、火気の取り扱いには十分に注意しましょう。

《全国統一防火標語》

消すまでは 心の警報 ONのまま



こんにちは栄養士です

食生活改善推進員協議会の

活動を紹介いたします

「地場産食材活用メニュー」を伝授

えりも小学校PTA研修会の講師依頼を受けて、保護者を対象に「地場産食材を活用した料理講習会」を11月1日（金）に開催しました。

当日は11人の参加があり、食改が手がけたオリジナルレシピの中から、地場産の鮭、ツブ、昆布、マツモを使った4品（鮭の炊き込みご飯、具だくさん汁、海と畑のハンバーグ、ツブとまつもの酢みそ和え）を保護者と一緒に作りました。

また、岩川会長からは日頃の会の活動報告があり、「若いお母さん達とも是非一緒に活動していきたい」と会のPRも行いました。参加者の感想は「鮭と大豆のハンバーグが美味しい」、「炊き込みご飯を家でも作ってみたい」と大変好評でした。食改としても実りある有意義な一日となったようです。

炊飯器だけで作れるので、とても簡単にできます。彩りもきれいです。ぜひ、ご家庭でも作ってみてください。



料理講習会メニューの中よりお勧めの一品「鮭の炊き込みご飯」

| (材料) 4人分 | | (作り方) |
|-------------|-------------------|---|
| 米 | 320g ^① | ① 人参は短冊切り、しめじは小分けにして調味料に15分ほど下味をつけておく。 |
| 水（米の分量に応じて） | 適量 | |
| 塩鮭切り身 | 120g ^② | ② 炊飯器に米と分量の水、刻んだ昆布、人参、しめじ、漬け汁を入れ、その上に塩鮭をのせて炊き上げる。 |
| しめじ | 100g ^③ | |
| 人参 | 100g ^③ | ③ 炊き上がった鮭の皮と骨を取り除き、ほぐす。枝豆も入れてよく混ぜ合わせ完成。 |
| 冷凍枝豆（市販） | 100g ^③ | |
| 昆布 | 10g ^③ | |
| 「漬け汁」 | | |
| 醤油 | 大さじ1杯 | |
| みりん | 小さじ2杯強 | |
| 酒 | 大さじ1杯と1/2杯 | |



調理実習を行うえり小PTAのお母さん

12月の保健メモ

(連絡先 役場保健福祉課 保健予防係 ☎ 2-4630)

| 行 事 | 実施日 | 時 間 | 会 場 |
|------------------|---------------|-------------|---------------|
| 麻しん風しん予防接種 | 3日(火)、17日(火) | 15:30~16:00 | 町立診療所 (要予約) |
| 乳幼児健診 | 10日(火) | 8:50~11:00 | 保健センター (個別通知) |
| 日赤巡回診療 | 11日(水)、25日(水) | 13:30~14:30 | 保健センター (要予約) |
| 風の子ひろば (育児サークル) | 11日(水)、25日(水) | 10:00~11:30 | 福祉センター |
| 三種混合予防接種 | 17日(火) | 13:30~13:40 | 保健センター |
| B C G 予防接種 | | 13:40~13:50 | 保健センター |
| 四種混合予防接種 | | 13:50~14:00 | 保健センター |
| ヒブワクチン予防接種 | | 14:00~14:10 | 保健センター |
| 小児用肺炎球菌ワクチン予防接種 | | 14:10~14:20 | 保健センター |
| ポリオ予防接種(不活化ワクチン) | | 14:20~14:30 | 保健センター |
| 二種混合予防接種 | | 26日(木) | 14:00~16:00 |
| 麻しん風しん予防接種 | 平成26年1月7日(火) | 15:30~16:00 | 町立診療所 (要予約) |

●庶野診療所 (☎4-2219)

三種混合・BCG・麻しん風しん混合・ヒブ・小児用肺炎球菌、不活化ポリオ、四種混合の個別予防接種

- ①実施日……毎週月・木曜 (2日前まで予約)
- ②時 間……14:00~16:00

●浦河日赤病院 (☎0146-22-5111)

ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種

小児科外来にお申し込みください。

●町立診療所

麻しん風しん混合の予防接種

前週金曜日までに保健予防係へお申し込みください。



●特殊詐欺の被害防止

- 「電話番号が変わった」という電話を容易に信じてはいけません。
- ATMで医療費が戻ってくることは絶対にありません。うまい話にはウラがあります。儲け話には注意しましょう。
- お金を要求する怪しい電話やメールが来たら、必ず家族や警察に相談しましょう。

●灯油盗難の被害防止

- ホームタンクには盗難防止器具を取り付けましょう。
- ポリタンクは施錠設備のある場所に保管し、確実な施錠をしましょう。

●スリップ等による交通事故の防止

- スリップ事故の原因となる急発進、急ブレーキなど、「急」のつく運転は危険です。時間にゆとりをもって、スピードダウンと車間距離の保持に努めましょう。

●お問い合わせ先

浦河警察署 ☎0146-22-0110

北朝鮮人権侵害問題啓発週間

拉致容疑事案をはじめとする北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民の関心を高めるとともに、国際社会と連携しつつ北朝鮮による人権侵害問題の実態を解明し、その抑止を図ることを目的として、毎年12月10日から16日までを「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」とすることとされています。

拉致被害者事案をはじめとする北朝鮮当局による人権侵害問題への関心を高めましょう。

●お問い合わせ先

浦河警察署警備係 ☎0146-22-0110

必ずチェック最低賃金！

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パート、アルバイト等を含む）に適用される北海道最低賃金（地域別）が次のとおり改定されました。

時間額 734円

（効力発生年月日 平成25年10月18日）

●お問い合わせ先

厚生労働省北海道労働局労働基準部賃金課

☎011-709-2311（内線3533）

浦河労働基準監督署 ☎0146-22-2113

自衛官を募集しています

自衛隊札幌地方協力本部では、次のとおり自衛官を募集しています。

●募集内容

- 自衛官候補生（男子コース）
 - 資格 18歳以上～満27歳未満
 - 受付期限 通年
 - 採用試験 受付時にお知らせします。
- 高等工科学校生徒（男子コース）
 - 資格 中卒（見込み含）17歳未満
 - 受付期限 平成26年1月10日
 - 採用試験 1次 平成26年1月18日
2次 平成26年2月1日～4日
- 予備自衛官補（男女コース）
 - 資格 一般公募 18歳～33歳
技能公募 18歳～54歳
 - 受付期限 平成26年4月上旬
 - 採用試験 平成26年4月中旬

●お問い合わせ先

〒059 - 2598

新ひだか町静内浦和125 静内駐屯地内
自衛隊札幌地方協力本部 静内分駐所

☎0146-44-2855



ご家庭における節電のお願い

日頃より、節電にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。
今冬におきましても、引き続き、節電にご協力をお願いいたします。

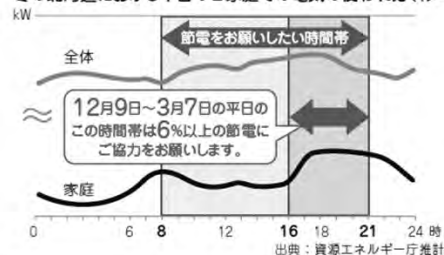
ご家庭で節電をお願いしたい期間・時間帯・量

12月9日(月)～3月7日(金)の平日※1
16時～21時において

6%以上※2の節電にご協力をお願いします。

- ※1 12月30日(月)～1月3日(金)を除く ※2 2010年度の実績との比較
- 上記の期間・時間帯を除く12月2日(月)～3月31日(月)の平日8時～21時において、数値目標は設けませんが、無理のない節電にご協力をお願いします。
- 冬季の北海道は夜間も電力需要が高い水準にあるため、上記以外の時間帯についても、可能な範囲での節電をお願いします。

冬の北海道における平日のご家庭での電気の使われ方(イメージ)



節電にご協力いただきたい電気製品

照明、冷蔵庫、テレビなどを中心に、普段からお使いの電気製品の節電にご協力をお願いします。



お知らせ



建設工事等入札（10月分）

えりも町で行った建設工事等の入札結果をお知らせします。

●10月28日入札

- 職員住宅（No.48、49号）解体工事
落札業者（有）渋田建設

住宅改修工事補助事業

えりも町住宅改修工事等補助事業の予算が残りわずかとなりました。

工事予定のある方は、お早めにご相談ください。

●お問い合わせ先

役場建設水道課建築管財係 ☎2-2114

町道の通行止め

冬期間未除雪区間のため、次の期間と町道が通行止めとなります。

●通行止め区間

歌別（ふ化場）～えりも岬（金丸宅）

●通行止め期間

12月1日から平成26年4月20日まで
（路面状況により、開始日に変更になる場合があります。）

●お問い合わせ先

役場建設水道課建設管理係 ☎2-2114

国民年金保険料の納付方法

国民年金保険料の納付方法として「2年前納（口座振替）」が始まります。

平成26年4月末の口座振替分より、割引額より大きな2年前納がご利用いただけるようになります。

●2年前納（口座振替）のメリット

- 2年間で14,000円程度の割引となります。
- 2年前納分の全額がその年の社会保険料控除の対象となります。
- 口座振替をご利用することにより、納め忘れを防ぐことができます。

※2年前納は口座振替のみご利用が可能です。

※申込期限は毎年2月末までです。

※詳しくは、下記のお問い合わせ先までご連絡してください。

●お問い合わせ先

苫小牧年金事務所 ☎0144-56-9002

国の教育ローン

日本政策金融公庫「国の教育ローン」は、高校・短大・大学・大学院・専修学校などに入学または在学する学生・生徒の保護者向けの公的融資制度です。

入学時や在学中にかかる費用の融資を固定金利で利用できます。

融資対象の学校と利用できる世帯の年収に要件があります。

詳しくは、下記のお問い合わせ先までご連絡してください。

●お問い合わせ先

「国の教育ローン」コールセンター

平日 9時～21時、土曜日 9時～17時

☎0570-008656（ナビダイヤル）

「ういず」の巡回相談

障がい者支援事業所「ういず」では、来所や電話、訪問による相談のほか、月に1度、役場保健センターで巡回相談を行っています。

一般的な相談は無料ですので、お気軽にご利用ください。

●12月の巡回相談日時 12月16日 10時～正午

●お問い合わせ先

〒057-0032 浦河町向が丘西2丁目568-66

☎0146-22-6246（FAX兼用）

E-メール uizu@u-kouyouen.jp

年末の犯罪及び交通事故の防止

安全で安心な年末を送り、希望に満ちた新年を迎えるため、次のことに気をつけて犯罪防止や交通事故防止に努めましょう。

●女性対象犯罪の被害防止

- 夜間は可能な限り、明るい道や人通りの多い道を通るようにし、イヤホンで音楽を聴いたり、スマートフォンを操作したりしながら歩くことはやめましょう。

人のうとき

(平成25年10月31日現在)

| | | |
|---------------------|--------|---------|
| 近浦 | 175人 | 69世帯 |
| 笛舞 | 288人 | 114世帯 |
| 大和 | 979人 | 429世帯 |
| 本町 | 914人 | 406世帯 |
| 新浜 | 710人 | 306世帯 |
| 歌別 | 344人 | 132世帯 |
| 東洋 | 385人 | 132世帯 |
| えりも岬 | 545人 | 209世帯 |
| 庶野 | 720人 | 277世帯 |
| 目黒 | 157人 | 75世帯 |
| 合計 | 5,217人 | 2,149世帯 |
| (男 2,596人 女 2,621人) | | |
| 転入 | 4人 | 転出 15人 |
| 出生 | 1人 | 死亡 8人 |

税の納期

◆国民健康保険税 第6期
(納期限 平成25年12月20日)



町立診療所・庶野診療所の診療表

●受付時間・電話番号

町立診療所(☎2-2265)
8時30分～11時30分
13時00分～16時30分

庶野診療所(☎4-2219)
9時00分～11時30分
14時00分～16時30分



| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----|----|---------|-----------------------|----------|----------|-------|
| | | 12/2 | 12/3 | 12/4 | 12/5 | 12/6 |
| 町立 | 内科 | ○ | 検査日 | ○ | ○ | 午前のみ |
| | 外科 | ○ | ○ | 午前のみ | 午前のみ | ○ |
| 庶野診 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 12/9 | 12/10 | 12/11 | 12/12 | 12/13 |
| 町立 | 内科 | ○ | 検査日 | ○ | ○ | 午前のみ |
| | 外科 | ○ | ○ | 午前のみ | 午前のみ | ○ |
| 庶野診 | | ○ | ○ | ○ | ○ | 午前のみ |
| | | 12/16 | 12/17 | 12/18 | 12/19 | 12/20 |
| 町立 | 内科 | 午前のみ | 検査日 | ○ | ○ | 午前のみ |
| | 外科 | ○(午前休診) | ○(代診) | 午前のみ(代診) | 午前のみ(代診) | ○(代診) |
| 庶野診 | | 15時～診療 | 13～15時医不在 | ○ | ○ | ○ |
| | | 12/23 | 12/24 | 12/25 | 12/26 | 12/27 |
| 町立 | 内科 | 休診 | 検査日 | ○ | ○ | 休診 |
| | 外科 | | ○ | 午前のみ | 午前のみ | ○ |
| 庶野診 | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 12/30 | 12/31 | 1/1 | 1/2 | 1/3 |
| 町立 | 内科 | 午前のみ | 12/30午後から翌年1/5まで休診です。 | | | |
| | 外科 | 午前のみ | | | | |
| 庶野診 | | 休診 | 12/30から翌年1/6まで休診です。 | | | |

○印は午前・午後とも診察

町立診療所

- ①12/16の内科は、午後から休診です。
- ②12/16の外科は、午後からの診察となります。
- ③12/16～21の外科は、医師不在のため代替医師となります。

庶野診療所

- ④12/13は、午後から休診です。
- ⑤12/16は、15時から診療が始まります。
- ⑥12/17は、13時から15時医師不在となります。
- ⑦12/28は、休診です。

都合により、診療表が急遽変更となる場合もあります。ご了承ください。

飲酒運転根絶



年末年始にかけて、忘年会や新年会などでお酒を飲む機会が多くなります。

飲酒運転は、交通事故の原因となりますので、絶対にやめましょう!!

12月の行事

| | | | |
|------------------------------|--------------------------|---|---------------------|
| 20日 | 14日 | 11日 | 5日 |
| 各機関の年末年始のお休みは、11ページに記載しています。 | 第5回定例会(役場庁舎議場/10時30分) | 歳末防犯・交通安全パトロール(役場庁舎ロビー・本町市街地/17時) | 歳縄づくり(郷土資料館/18時～6日) |
| | まなびの広場「絵画教室」(福祉センター/10時) | 運転免許更新新時講習(福祉センター/優良13時～13時30分・一般14時～15時) | |

北海道・えりも町企画課 住所：北海道幌泉郡えりも町字本町206番地 電話：01466-2-2111

Eメール：erimo@sage.ocn.ne.jp FAX：01466-2-4633 発行日：平成25年12月3日